

「緩和ケアチーム活動状況調査」のまとめ

1 調査概要

広島県では、緩和ケアチームの活動状況を把握するために、医療機関に対する調査を実施しています。令和2年度からは「緩和ケアチームによるケアを受けられる施設」として「広島がんネット」に公表できる基準を定め、基準を満たす施設に緩和ケアチーム活動状況調査を実施しています。結果の概要は次のとおりです。

2 調査対象

県内の20床以上の施設（県内がん診療連携拠点病院、精神科単科病院、リハビリ病院を除く）153施設に「緩和ケアチームの設置状況」を確認し、「緩和ケアチームを有する」と回答した、37施設に調査を実施。

その結果「緩和ケアチームによるケアを受けられる施設」として「広島がんネット」に公表できる基準を満たす26施設を対象に調査を実施。

(1) 調査時点等

令和7年4月1日現在

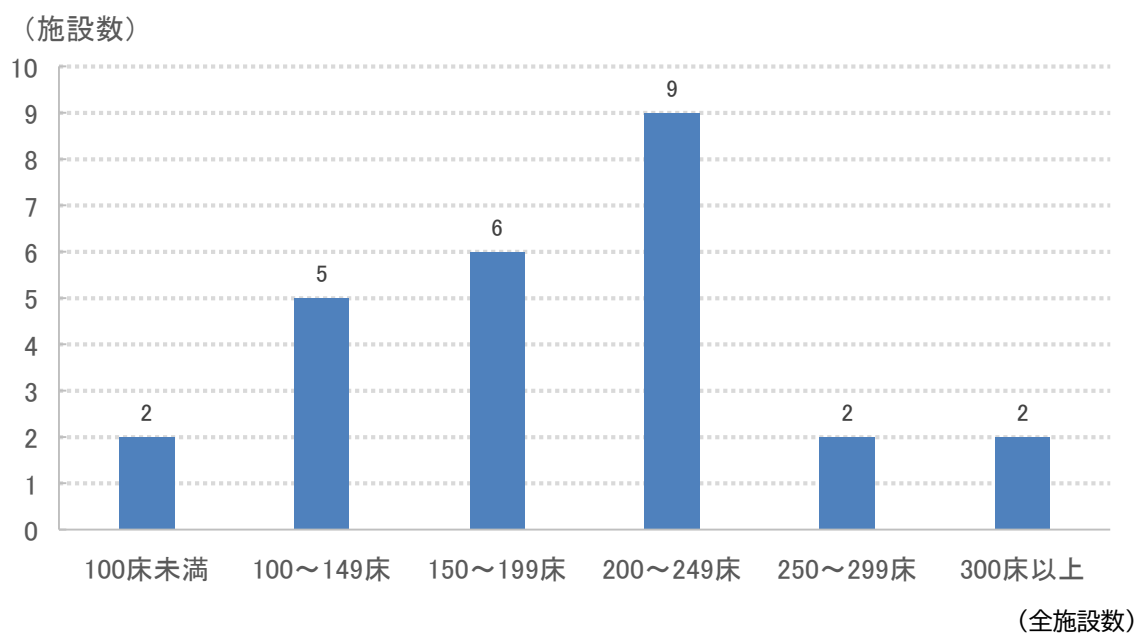
※「令和6年度」と記載している項目については、令和6年4月1日～令和7年3月31日の実績数

(2) 回収率

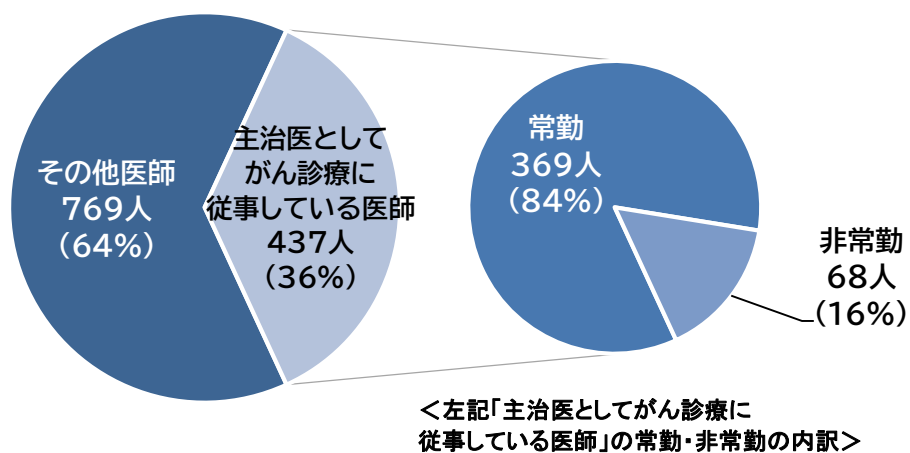
100%(26/26施設)

ア 診療概要

(1) 全許可病床数別施設数



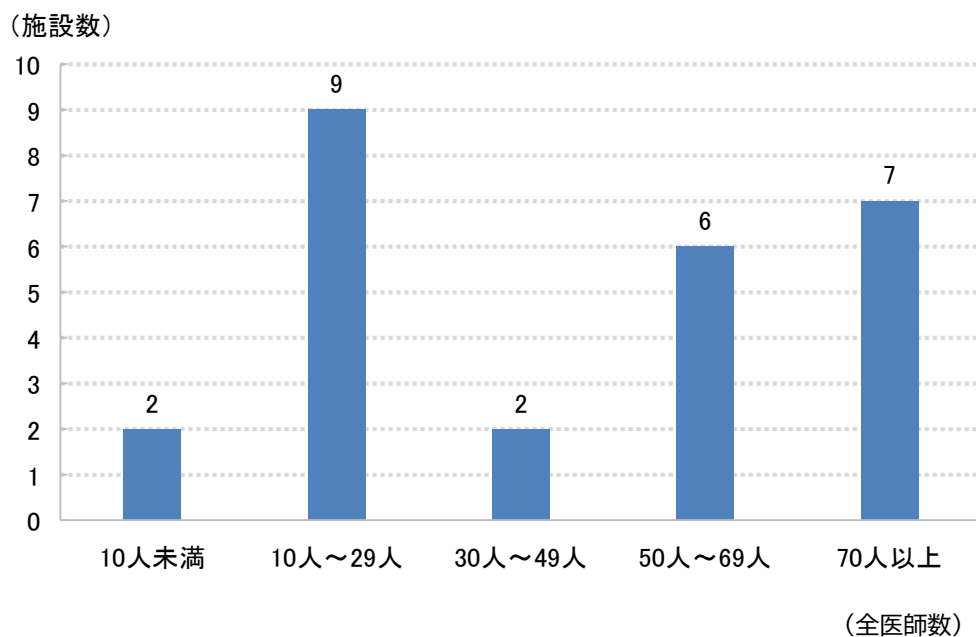
(2)「全医師数」に対する「主治医としてがん診療に従事している医師数」の割合(全施設の合計人数)
(全医師数=1,206人)



(人)

全医師数(1,206)			
主治医としてがん診療に従事している医師(437)		その他の医師(769)	
常勤	非常勤	常勤	非常勤
369	68	278	491

(3) 各施設の全医師数別施設数



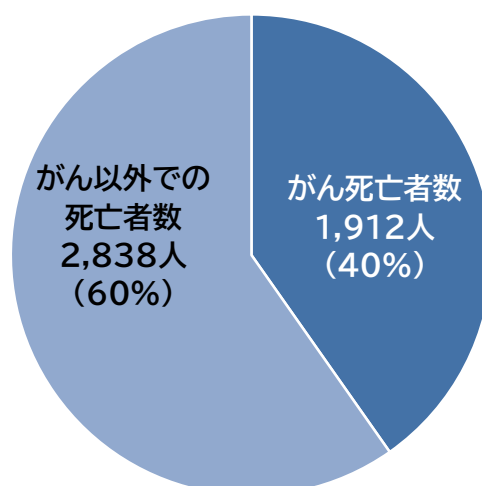
(4) 許可病床数別「主治医としてがん診療に従事している医師数」(非常勤含む)

(施設)

	5人未満	5人～9人	10人～14人	15人～19人	20人以上
100床未満	1	1			
100床～149床	2	3			
150床～199床	3		1	1	1
200床～249床	1		1	2	5
250床～299床					2
300床以上					2
計	7	4	2	3	10

(5) 「全死亡者数(令和6年度)」に対する「がん死亡者数(令和6年度)」の割合(全施設の合計人数)

(全死亡者数(令和6年度) 4,750人)



(6) 許可病床数別「がん手術件数(令和6年度)」

(施設)

	10件未満	10件～49件	50件～99件	100件～199件	200件以上
100床未満	2				
100床～149床	3	1	1		
150床～199床	3	2		1	
200床～249床	1		3	4	1
250床～299床					2
300床以上				1	1
計	9	3	4	6	4

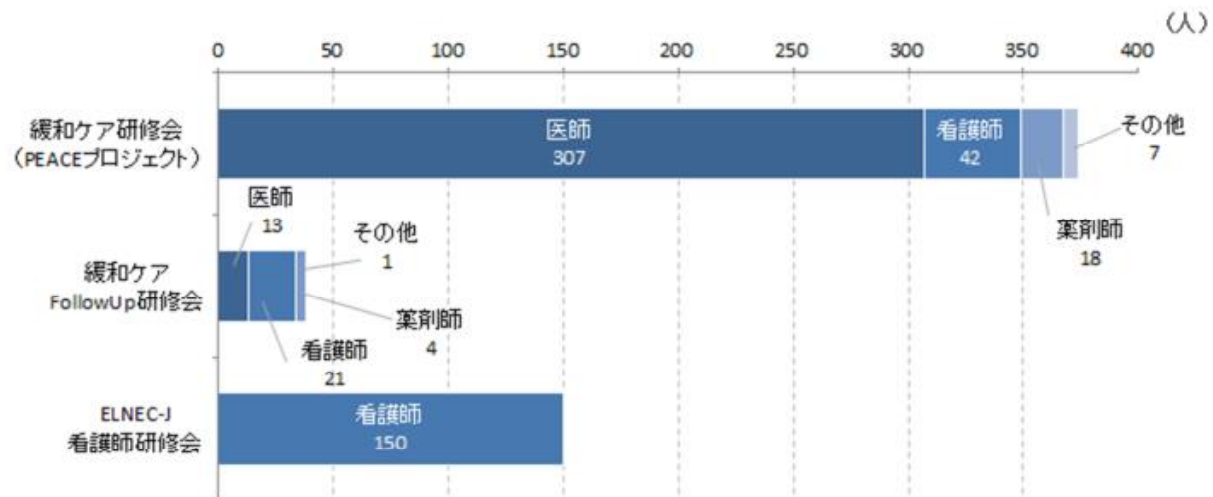
(7) 許可病床数別「新規入院がん患者数(令和6年度)」に対する「がん診療連携拠点病院からの受入れがん患者数(令和6年度)」の割合

(施設)

	25%未満	25%～50%	50%～75%	75%以上	不明	計
100床未満	2					2
100床～149床		3	1	1		5
150床～199床	2	1	2	1		6
200床～249床	6		3			9
250床～299床	1				1	2
300床以上	1	1				2
計	12	5	6	2	1	26

イ 緩和ケア研修等の状況

(1)「職種別」研修修了者数(全施設の合計人数) ※令和7年4月1日現在



＜修了者数＞

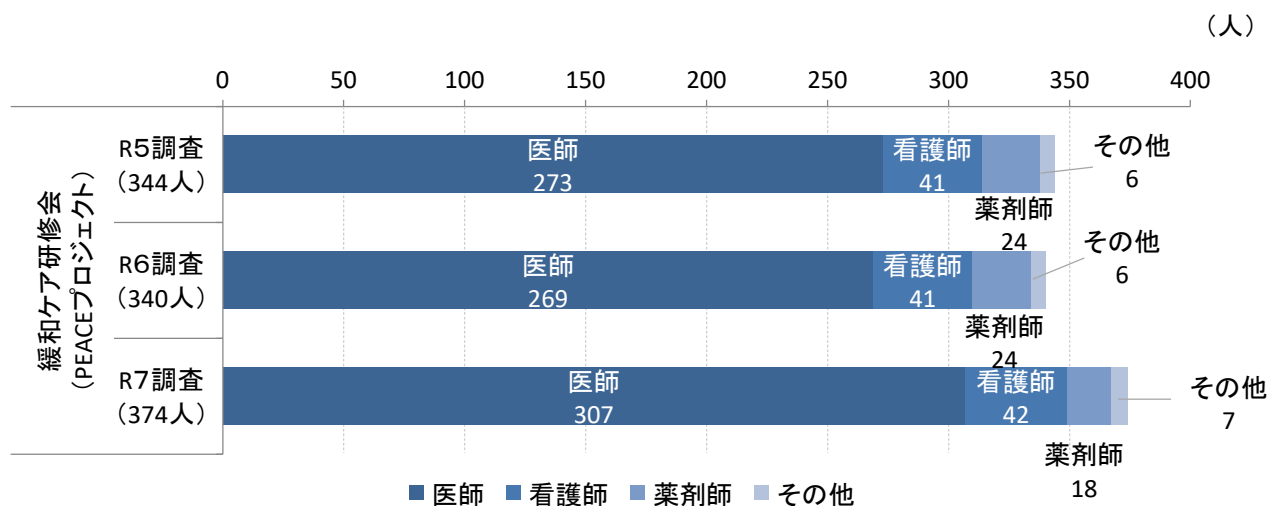
(人)

	医師	看護師	薬剤師	その他	計
緩和ケア研修会 (PEACEプロジェクト)	307	42	18	7	374
緩和ケア FollowUp研修会	13	21	4	1	39
ELNEC-J 看護師研修会		150			150
計	320	213	22	8	563

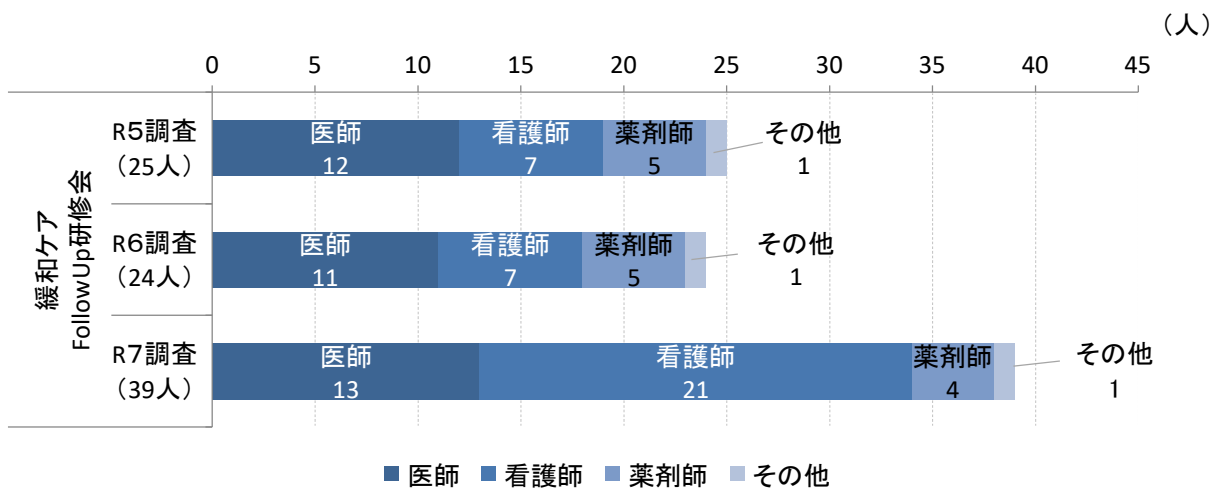
(2) 前年度の研修受講状況との比較

※各年度の調査(4月1日現在)において基準を満たした施設の研修受講者合計人数を比較

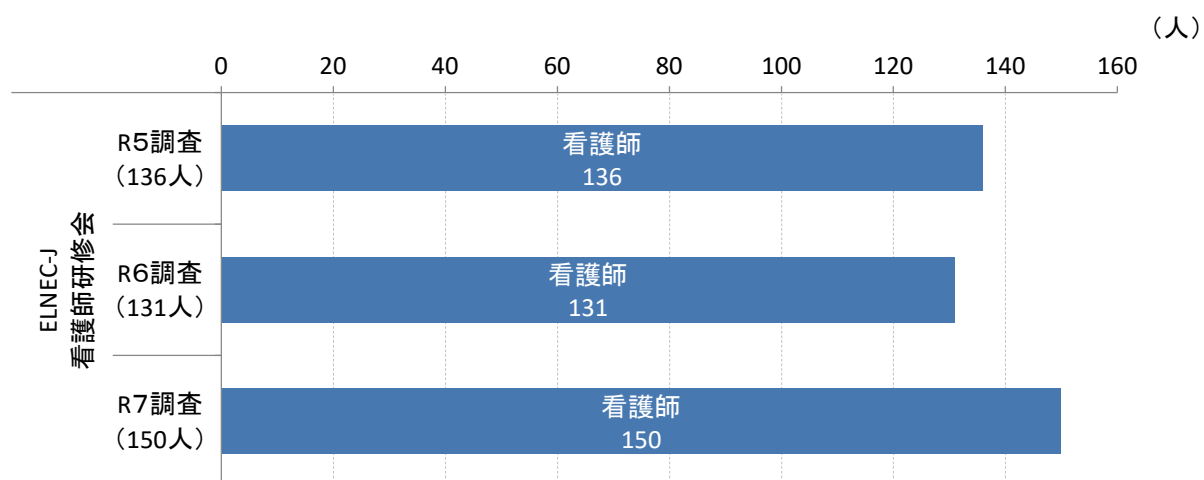
① 緩和ケア研修会(PEACE プロジェクト)



② 緩和ケア FollowUp 研修会

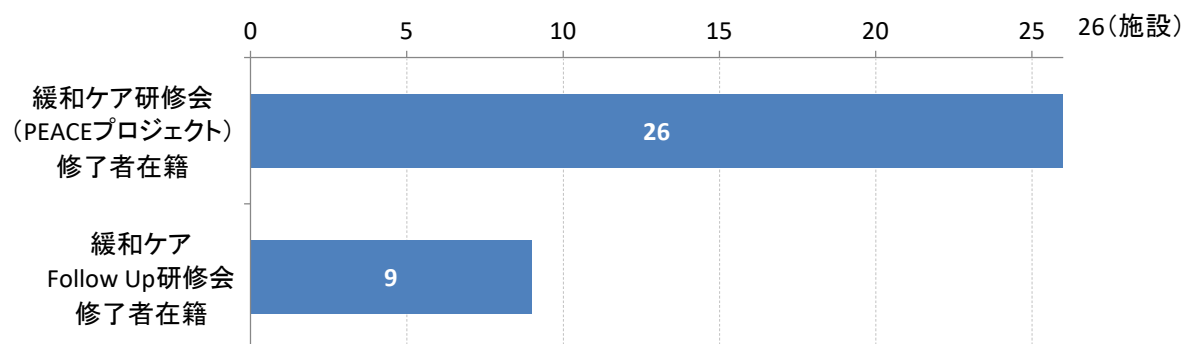


③ ELNEC-J 看護師研修会

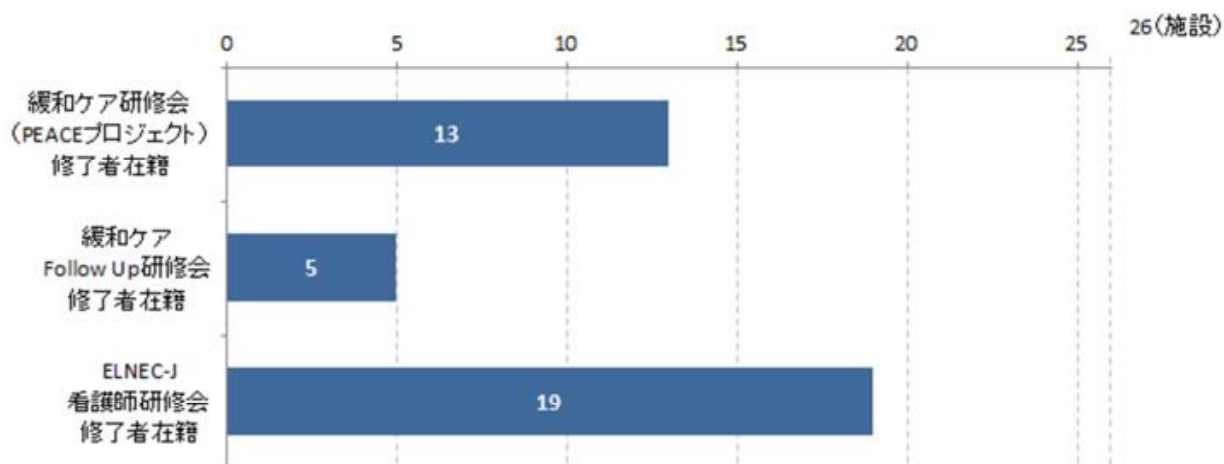


(3)「施設別」研修受講状況

① 医師



② 看護師



緩和ケア研修会(PEACE プロジェクト)を受講しましょう！

今回の調査では、医師については、全施設に1名以上修了者がいましたが、緩和ケアチームに所属する全ての医師が修了することが望ましいです。

平成30年度から、医師以外の医療従事者の研修参加が可能となったことから、看護師の修了者も少しずつではありますが増えてきています。緩和ケアチームメンバーにがん看護専門看護師や、がん関連認定看護師(緩和ケア・がん性疼痛)がいることが望ましいですが、養成期間中の費用や代替職員等の確保が難しいこともあるため、まずは県内の全拠点病院で通常年に1回開催されるこの研修会に参加してください。

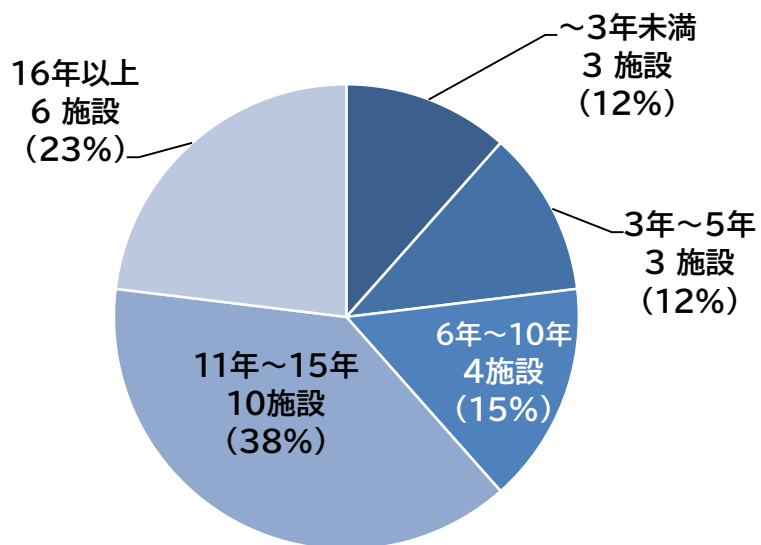
また、薬剤師・社会福祉士・公認心理士等も、看護師と同様、研修参加が可能ですので、チームメンバーの皆様もぜひ参加してください。

・研修会の情報（広島がんネットの緩和ケア研修情報のページ）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/gan-net/kanwa-kenshu.html>

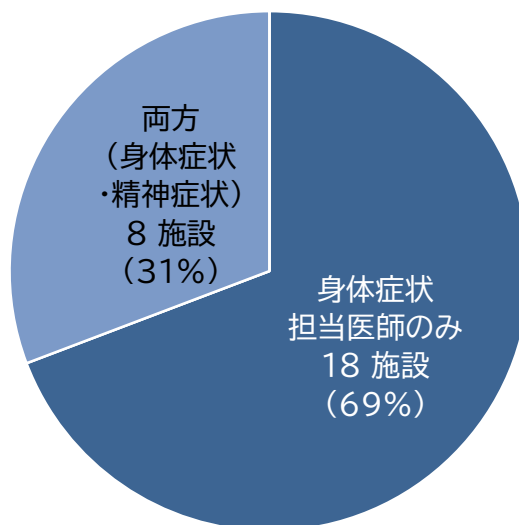
ウ 緩和ケアチームについて

(1) 緩和ケアチームの設立年数(令和7年4月1日現在)

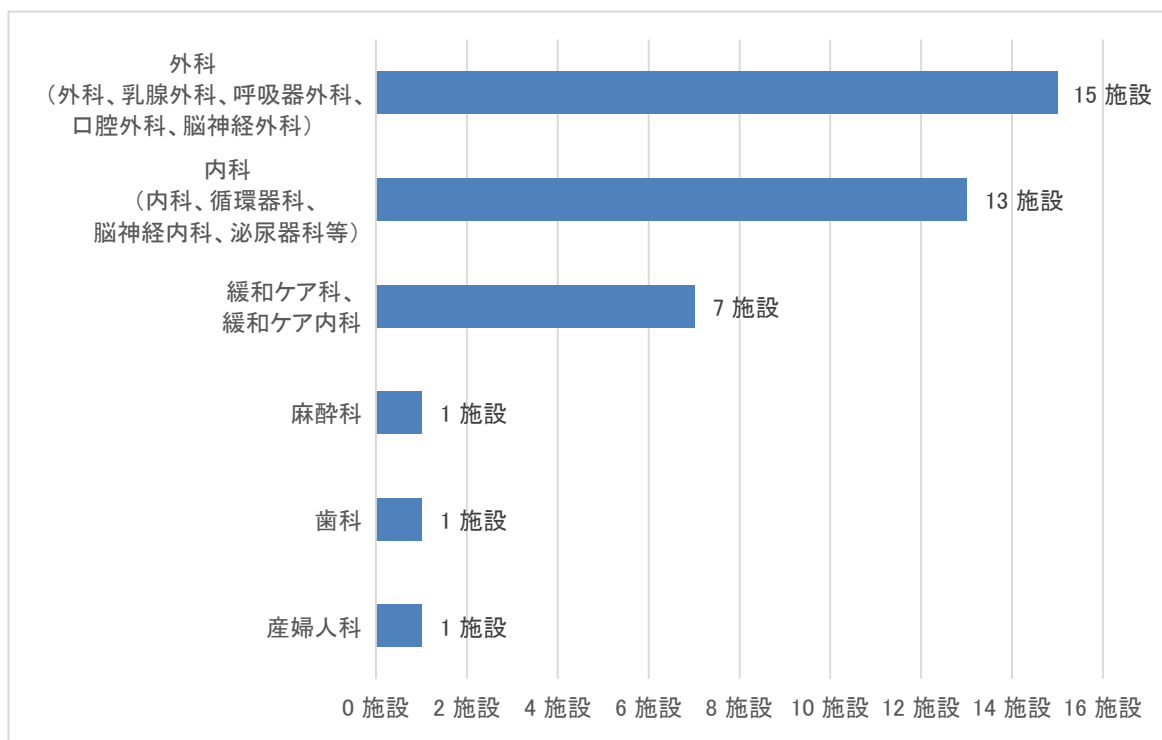


(2) 緩和ケアチーム担当医師の「担当分野」及び「所属診療科」

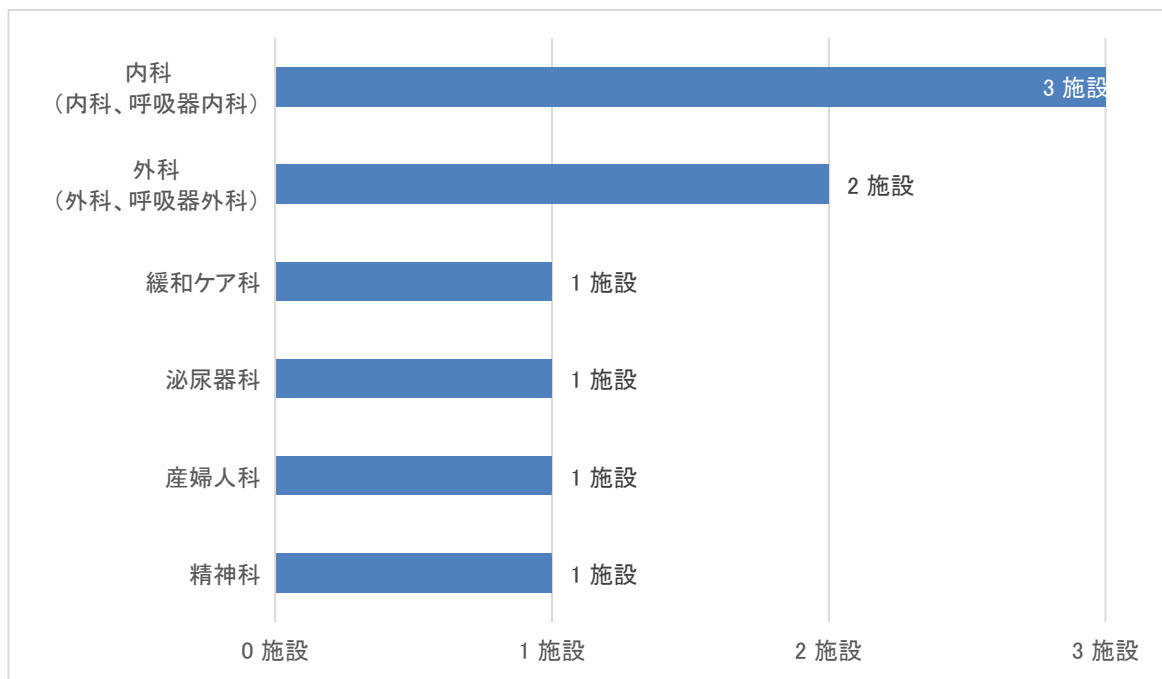
① 「担当分野」別在籍状況



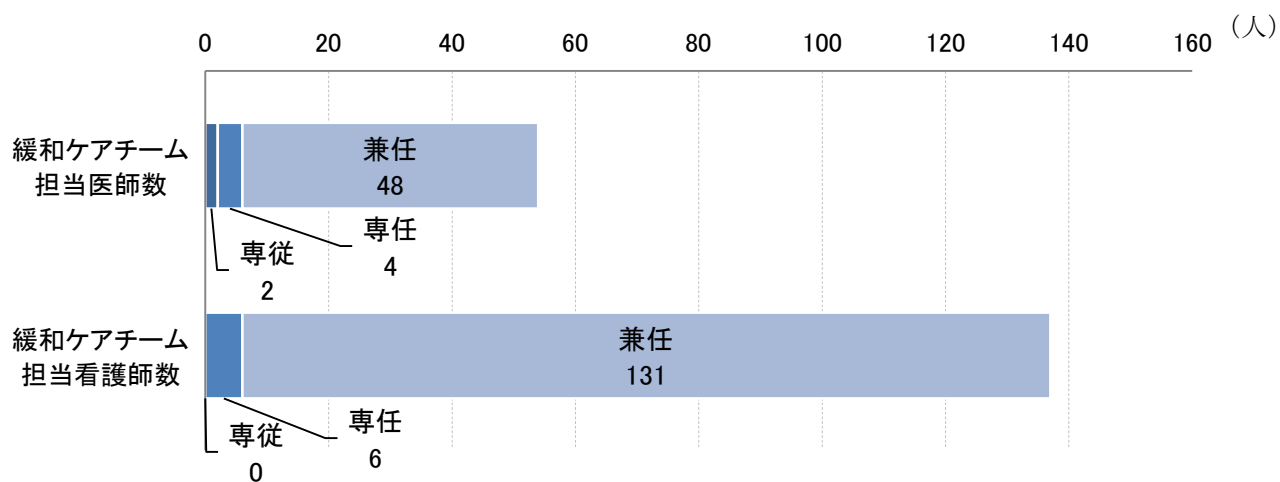
② 「身体症状担当医師」の所属診療科内訳(複数回答可)



③ 「精神症状担当医師」の所属診療科内訳(複数回答可、非常勤含む)

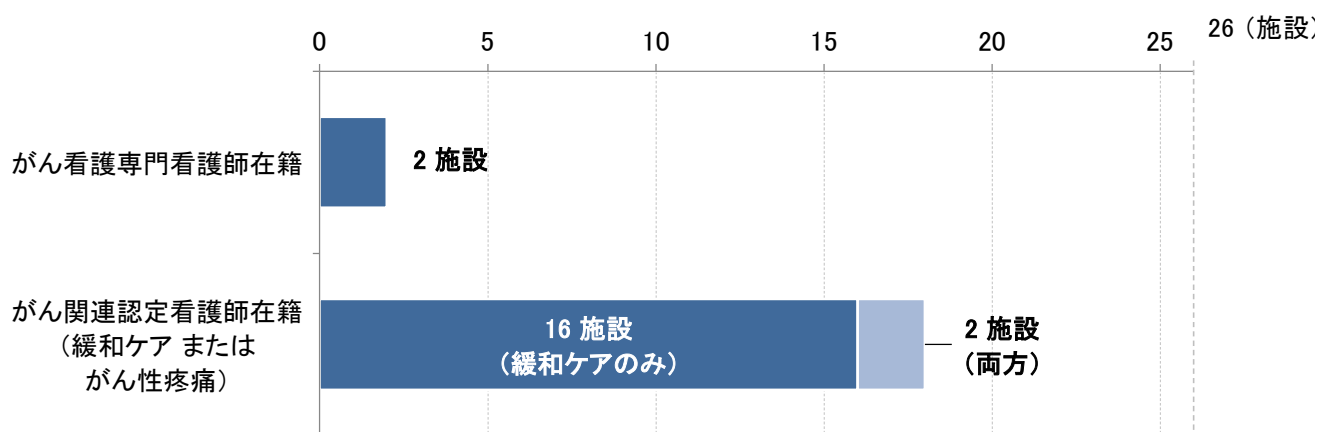


(3) 緩和ケアチーム担当医師及び看護師の従事区分(全施設の合計人数)



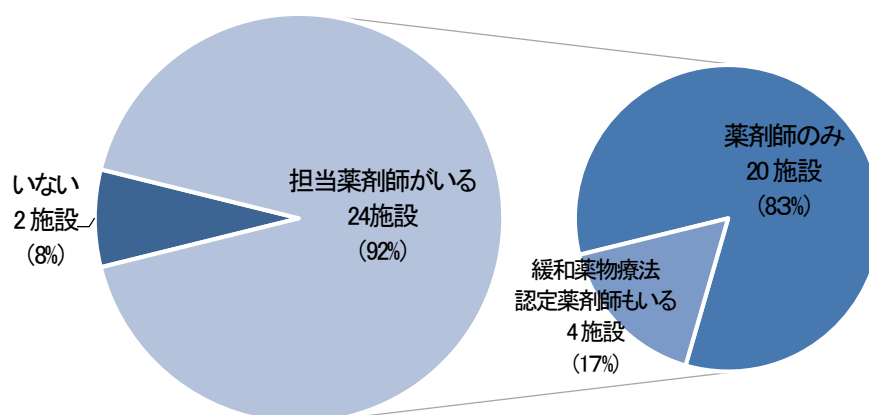
	専従 (8割以上従事)	専任 (5割以上従事)	兼任 (5割未満従事)	計
緩和ケアチーム 担当医師数	2	4	48	54
緩和ケアチーム 担当看護師数	0	6	131	137

(4) 緩和ケアチームにがん看護専門及びがん関連認定看護師が在籍する施設数



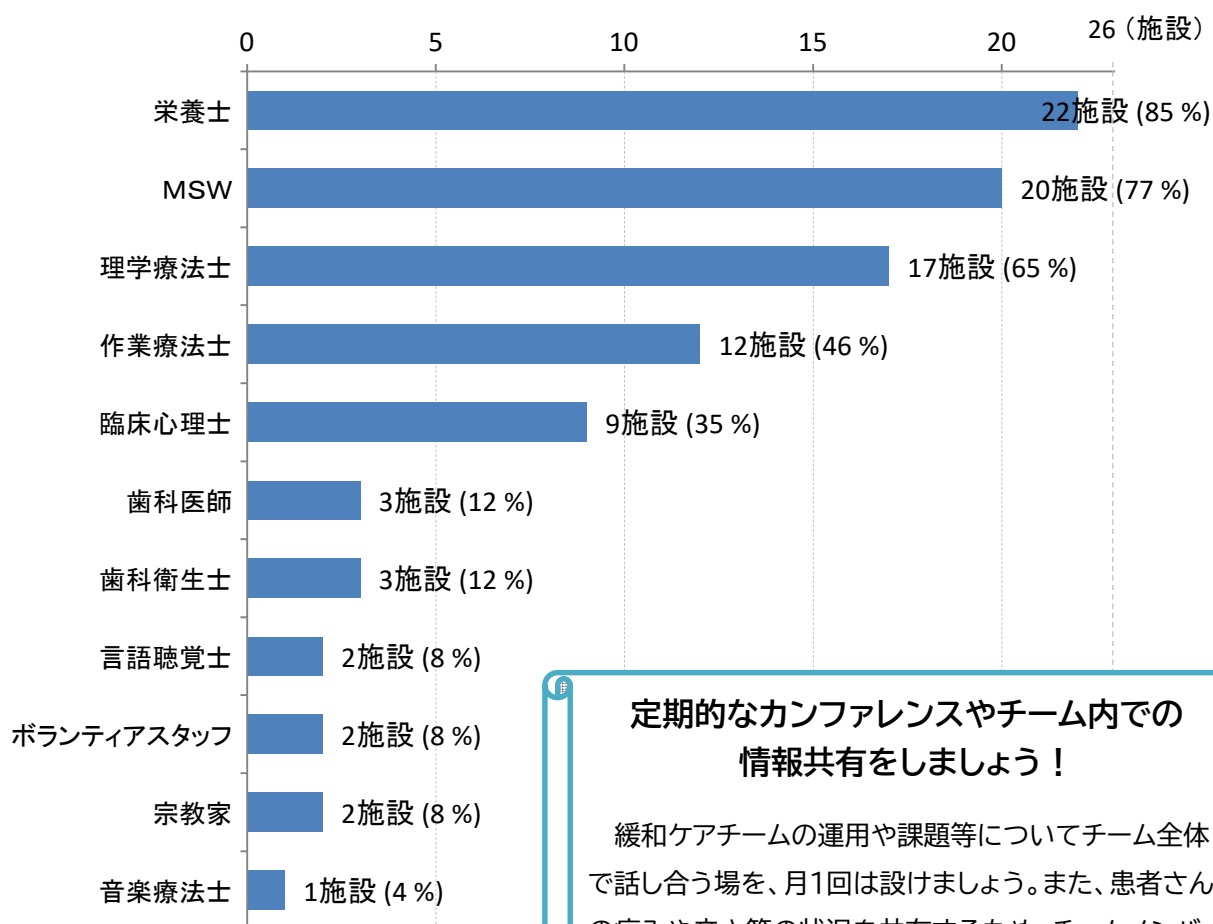
がん看護専門看護師	がん関連認定看護師	
	緩和ケア	がん性疼痛
4	21	2

(5) 緩和ケアチーム担当薬剤師数



＜左記「担当薬剤師がいる施設」の内訳＞

(6) 緩和ケアチーム構成メンバー(在籍施設数)



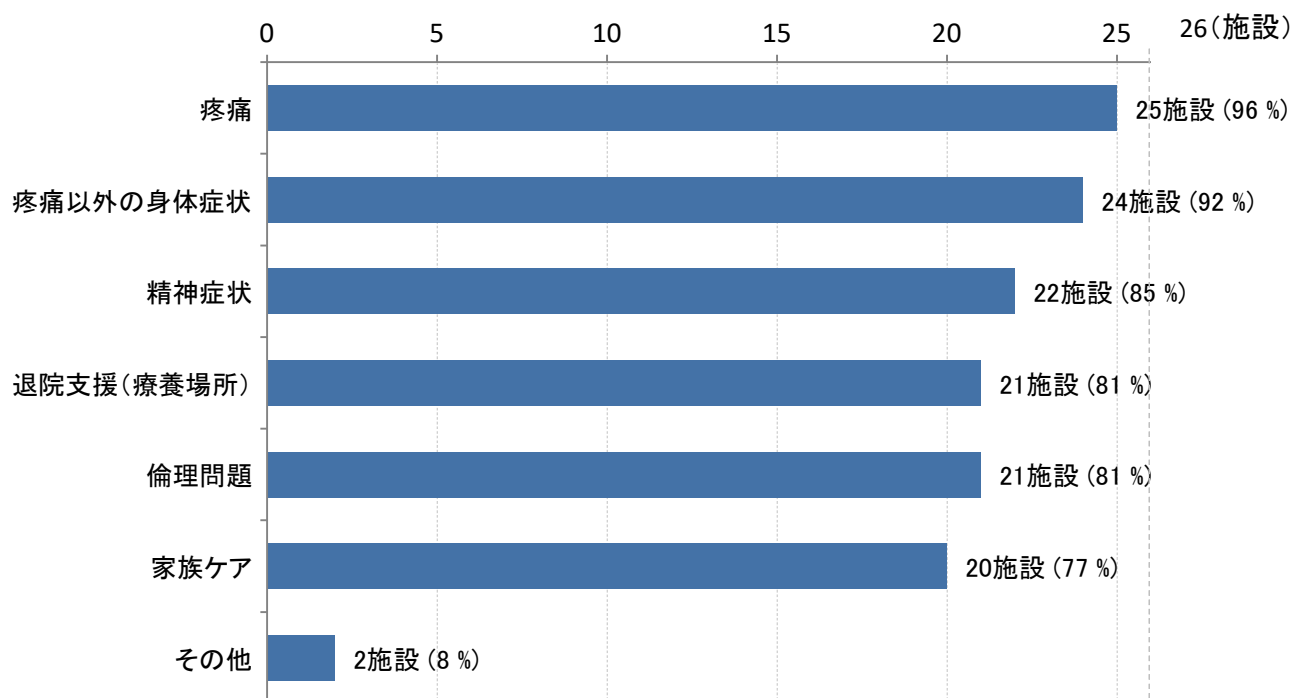
**定期的なカンファレンスやチーム内での
情報共有をしましょう！**

緩和ケアチームの運用や課題等についてチーム全体で話し合う場を、月1回は設けましょう。また、患者さんの痛みや辛さ等の状況を共有するため、チームメンバーによるミーティングを週1回は行いましょう。

(7) 年間新規診療依頼件数（令和6年度）

	(施設)				
	10件未満	10件～49件	50件～99件	100件以上	不明
100床未満		1			1
100床～149床	1	2			2
150床～199床	2	2	1		1
200床～249床	3	4	1	1	
250床～299床			1	1	
300床以上		1		1	
計	6	10	3	3	4

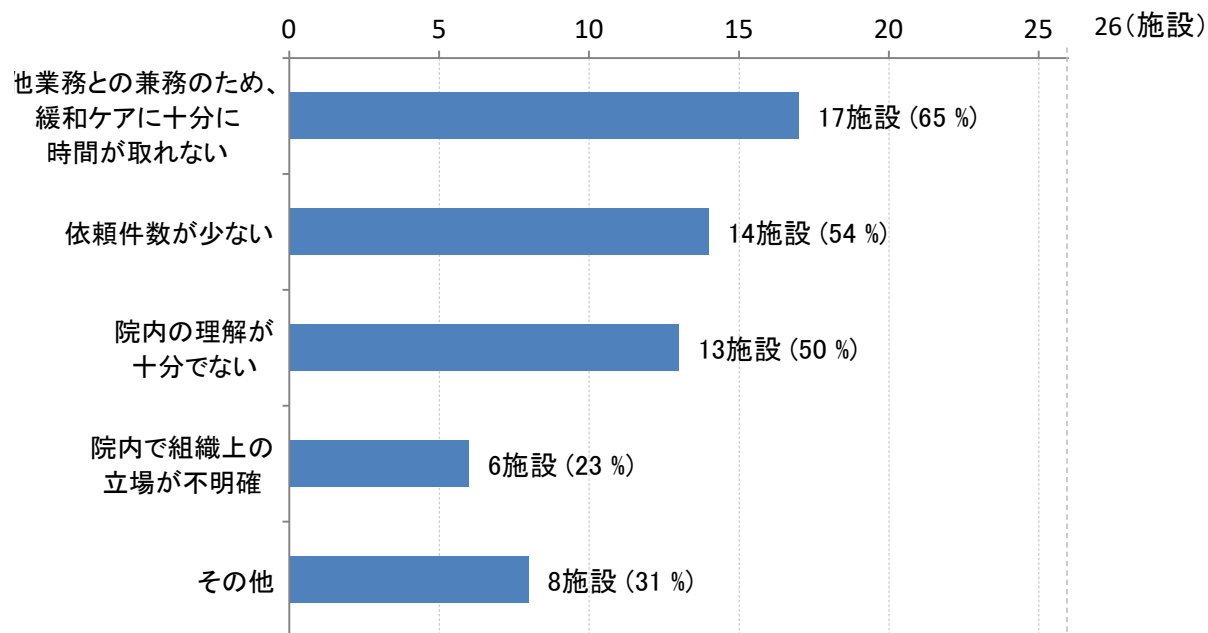
(8) 診療依頼内容について(複数回答可)



【その他内訳(自由記入)】

- スピリチュアル

(9)緩和ケアチームの抱えている課題(複数回答可)



【その他内訳(自由記入)】

- 精神科領域の問題
- ACP 活動がまだ不十分、非がん患者の取り組みが不十分
- 非がんの症状緩和、看取り対応の困難さがある(少しは周知できるようになったけど)
- 精神に対応する専門者がいない
- 効果的なチーム活動ができていない。事例検討も表面的
- 精神面を診る精神科専門の医師がいない
- 精神症状に対する依頼が多く身体症状に関する依頼が少ない

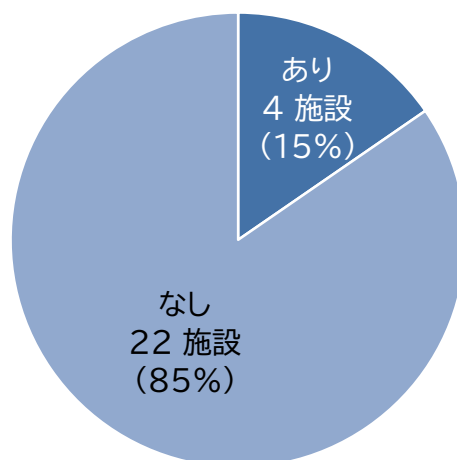
緩和ケアチームの運用について話し合いましょう！

緩和ケアチームが院内で認知され、活動できるようにするためには、その運用等について定期的(少なくとも年1回以上)に話し合う場を設けることが望ましいです。

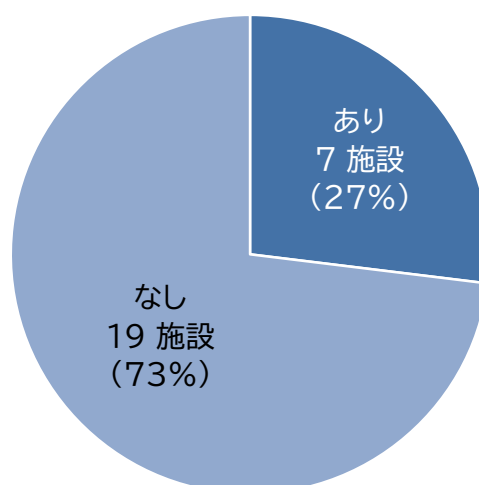
話し合いの場では、チームによる緩和ケアを受けたいと希望する患者さんが、適切にそのケアを受けることができるよう、院内でのチームの位置付けやチームへの相談方法等を明確にしておきましょう。

エ 緩和ケアチーム施設について

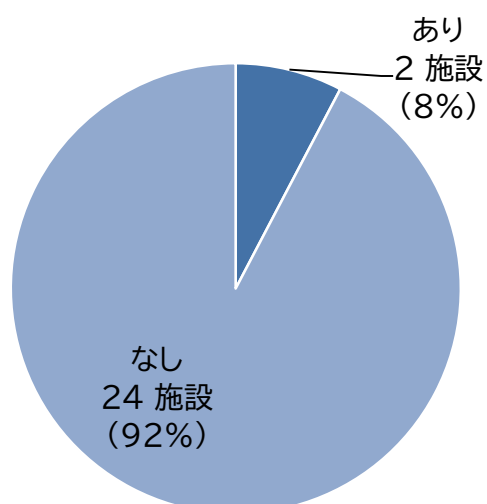
(1) 外来診察日の設置



(2) 緩和ケア病棟



(3) 緩和ケアチーム用病床



継続的な教育を！

よりよい緩和ケアを提供するためには、計画的、そして継続的にチームメンバーが外部研修等に参加し、緩和ケアの知識を深めることが大切です。

また、チームの活動を院内外に知ってもらうため、チームメンバー以外のスタッフや外部からも参加できる研修会等を定期的に行っていくことが望ましいです。県内のがん診療連携拠点病院で実施している緩和ケアチーム研修にも是非参加してください。